

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2023年7月31日設定）
運用方針	主としてインドネシアの株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年7月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、委託会社が信託財産の成長に資することに配慮し、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インドネシア株式ファンド （資産成長型）

愛称：+ α インドネシア
（プラスアルファインドネシア）

第2期（決算日 2025年7月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式ファンド（資産成長型）」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分			騰落		投資組入比率	純資産総額
		込	み	期	騰	落		
(設定日) 2023年7月31日	円 10,000		円 -			% -		百万円 196
1期(2024年7月25日)	9,558		0			△ 4.4	91.5	1,574
2期(2025年7月25日)	8,565		0			△10.4	91.1	2,552

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

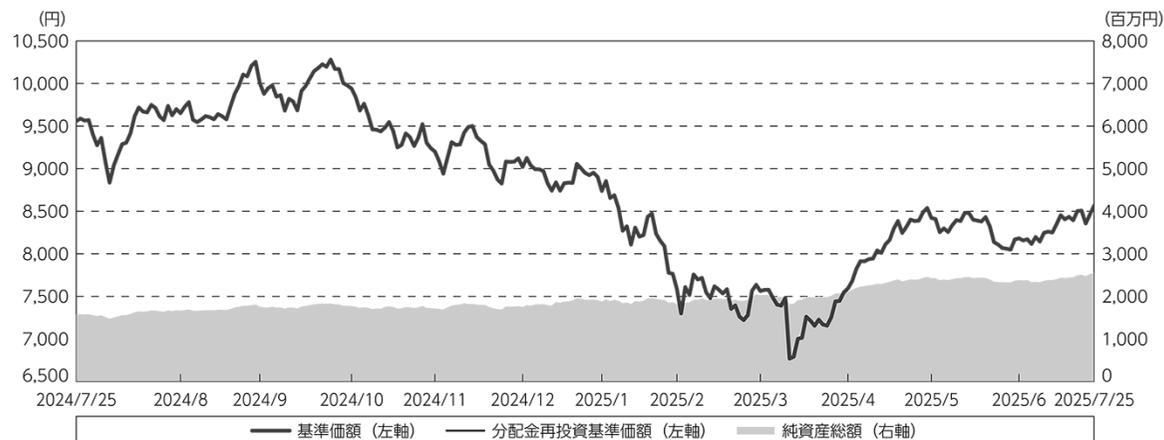
○当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	騰落率		投資組入比率
		騰	落	
(期首) 2024年7月25日	円 9,558		% -	91.5
7月末	9,401		△ 1.6	90.9
8月末	9,652		1.0	91.2
9月末	10,007		4.7	91.9
10月末	9,941		4.0	92.3
11月末	9,200		△ 3.7	91.1
12月末	9,020		△ 5.6	91.7
2025年1月末	8,738		△ 8.6	91.8
2月末	7,585		△20.6	91.3
3月末	7,563		△20.9	90.6
4月末	7,593		△20.6	91.5
5月末	8,421		△11.9	91.4
6月末	8,181		△14.4	90.9
(期末) 2025年7月25日	8,565		△10.4	91.1

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

基準価額等の推移について



期首： 9,558円

期末： 8,565円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 10.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年7月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。
- ・インドネシアルピアが対円で下落したこと。

インドネシア株式市場

期初から2024年8月上旬にかけては米国の景気悪化懸念などを背景に世界的な株安が進んだ影響を受けインドネシア株式市場は下落しましたが、その後は米国の金融緩和と政策への転換期待の高まりからインドネシアルピアが対米ドルで上昇したことを背景に、堅調な展開となりました。しかし、10月以降は米国長期金利の上昇を受けてインドネシアルピアが下落基調をたどる中、株式市場は軟調な展開となりました。2025年1月にはインフレの落ち着きを受けてインドネシア中央銀行（BI）が政策金利を0.25%引き下げると、再びインドネシアルピアが下落し、株式市場は下落基調となりました。さらに、インドネシア企業の収益見通しに対する懸念や米トランプ関税に対する不透明感などから、4月初めにかけて急落しました。しかし、その後は米相互関税の発動休止やインドネシア政府による財政支出拡大によるマクロ景気の回復期待などを受けて、株式市場は反発しました。期末にかけては米政権から当初提示された関税率から引き下げられたことなどが好感され、株式市場は上昇して終わりました。

為替市場

期初から2024年9月半ばにかけては、米国のインフレの落ち着きや雇用悪化への懸念などから米国長期金利が低下基調をたどる中、インドネシアルピアは対米ドルで上昇を続けました。10月以降は、米国の大統領選挙でトランプ前大統領の返り咲きへの可能性が高まり、米ドル高、米国長期金利上昇が続いたことからインドネシアルピアは対米ドルで下落しました。さらに2025年の年明け以降は、米国の利下げ休止、米国の長期金利上昇、加えてBIが2025年1月半ばに政策金利を引き下げたことなどからインドネシアルピアは米ドルに対し一層軟調な展開となりました。その後、4月以降は米トランプ関税の影響による米国経済の悪化懸念などから米ドルが売り込まれる中、インドネシアルピアは反発しました。5月、6月にBIは利下げを行いました。インドネシアルピアは期末にかけて安定して推移しました。期を通じて米ドルが対円で下落したことからインドネシアルピアは対円で下落しました。

国内債券市場

国内債券市場は、2024年7月末に日銀が0.25%の利上げを実施したことから急激な円高が進み、株式市場が急落した結果、米国長期金利に連動して利回りが低下し、10年国債利回りは一時、0.7%台まで低下しました。その後は概ね0.8%台で推移していましたが、10月以降は米国長期金利の上昇に伴い、国内債券利回りも上昇しました。2025年の年明け以降は日銀の利上げペースが加速するとの思惑が広がり、10年国債金利はさらに上昇基調をたどり、2025年3月には1.5%を超えました。しかし、米トランプ関税による米国の景気悪化懸念などから円が買われる中、日本国債の利回りは急低下し、4月上旬には一時1.1%を下回りました。その後期末にかけては米トランプ関税に対する悲観的な見方が和らぐ中、参議院選挙での与党敗北による財政悪化懸念などから日本国債利回りは上昇し、期末には1.6%近辺で終わりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるイーストスプリング・インベストメンツ「インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。当期は2024年10-12月期決算が生産の回復等から予想を上回ったことや新規に獲得した生産設備による増産への期待などから株価が上昇した大手化学メーカーの Barito Pacific TBK PTなどの保有がプラスに寄与した一方、低迷する預金の伸びにより利ザヤが圧縮され、貸出の伸びが鈍化していることなどを嫌気され株価が下落した大手行の一角であるBank Mandiri Perseto TBK PTなどの保有がマイナスに寄与しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2024年7月26日～ 2025年7月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象のひとつであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

引き続き米トランプ関税の影響には注視が必要ですが、インドネシアルピアの落ち着きが続けば今後ともインドネシア中央銀行(BI)による更なる利下げが予想される上、2025年後半に向けて財政支出の増加がマクロ経済の下支え要因となることが期待されます。セクターでは、インドネシア政府による低所得者支援政策や原材料価格の下落などにより消費関連セクターが恩恵を受けることが予想されることから引き続き強気に見ています。また、通信セクターについては初期プランへの価格規制強化などから今後業界内での競争が緩和していくことが予想されることからポジティブに見ています。銀行セクターについては、インフレの落ち着きとともに政策金利の引き下げが予想されることから資金調達コストの低下により収益の向上が見込まれますが、今後信用コストが上昇する可能性があります。足元のインドネシア株式市場は2025年4月の安値から大幅に反発しましたが、予想株価収益率は過去10年の平均値に比べて依然として20%以上割安です。ただし、インドネシア企業の2025年度のEPS伸び率は前年比10%の減益が見込まれていることから、引き続き慎重な見極めが必要であると考えています。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年7月26日～2025年7月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.517	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.247)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.247)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.073	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.008)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.032)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(3)	(0.033)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（ そ の 他 1 ）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合 計	51	0.590	
期中の平均基準価額は、8,775円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

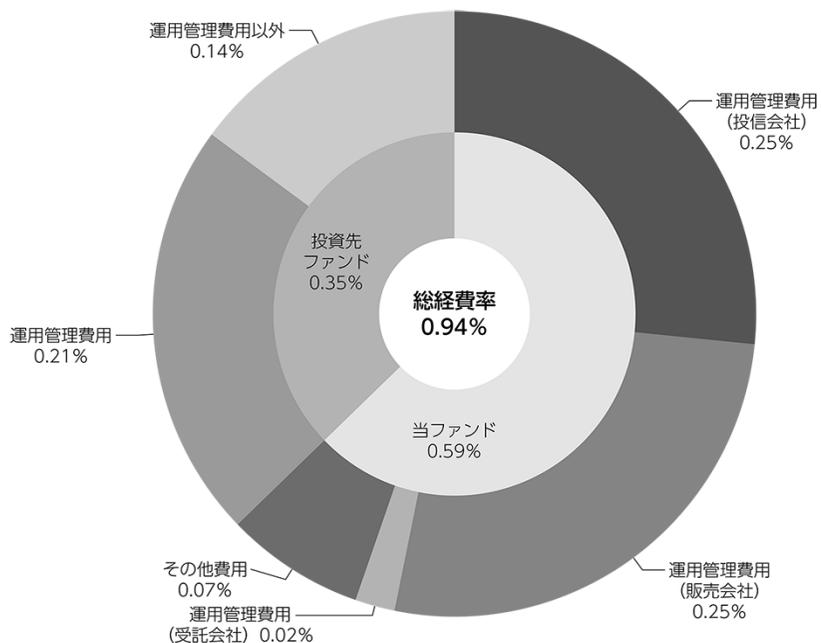
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	0.94
①当ファンドの費用の比率	0.59
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.21
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月26日～2025年7月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	千口 432	千円 450	千口 -	千円 -
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍 イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドクラスⅠ	467	千米ドル 7,200	31	千米ドル 500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未满是切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月26日～2025年7月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年7月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)	851	1,284	1,327	0.1
	合計	851	1,284	1,327	0.1

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)		当期末		比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		千口	千口	千米ドル	千円	%
	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドクラスⅠ	539	975	15,755	2,322,676	91.0
	合計	539	975	15,755	2,322,676	91.0

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2025年7月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,327	0.1
投資証券	2,322,676	89.3
コール・ローン等、その他	277,040	10.6
投資信託財産総額	2,601,043	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産 (2,322,676千円) の投資信託財産総額 (2,601,043千円) に対する比率は89.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.42円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,601,043,964
コール・ローン等	277,037,649
投資信託受益証券(評価額)	1,327,612
投資証券(評価額)	2,322,676,330
未収利息	2,373
(B) 負債	48,671,915
未払金	29,484,000
未払解約金	12,824,569
未払信託報酬	5,435,059
その他未払費用	928,287
(C) 純資産総額(A-B)	2,552,372,049
元本	2,979,918,604
次期繰越損益金	△ 427,546,555
(D) 受益権総口数	2,979,918,604口
1万円当たり基準価額(C/D)	8,565円

(注) 元本の状況

期首元本額 1,647,535,731円

期中追加設定元本額 2,403,754,189円

期中一部解約元本額 1,071,371,316円

(注) 1口当たり純資産額は0.8565円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2024年7月26日～2025年7月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	418,639
受取利息	418,639
(B) 有価証券売買損益	△ 63,596,037
売買益	46,411,723
売買損	△110,007,760
(C) 信託報酬等	△ 11,415,465
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 74,592,863
(E) 前期繰越損益金	△ 36,000,762
(F) 追加信託差損益金	△316,952,930
(配当等相当額)	(△ 121,805)
(売買損益相当額)	(△316,831,125)
(G) 計(D+E+F)	△427,546,555
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△427,546,555
追加信託差損益金	△316,952,930
(配当等相当額)	(△ 121,805)
(売買損益相当額)	(△316,831,125)
繰越損益金	△110,593,625

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)より分配対象収益は0円(10,000口当たり0円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (以下「ICE Data」) 及び/またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インドネシア株式ファンド（資産成長型）」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2024年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

	2024年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首純資産		105,329,723
収益		
配当金		2,887,351
短期金融市場預金利息		264
預金利息		34,842
収益合計		2,922,457
費用		
運用報酬		551,556
運営費用及びサービス費用		139,648
その他費用		46
費用合計		691,250
純投資収益（損）		2,231,207
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(4,394,873)
外国為替に係る実現純利益（損）		(102,057)
実現純利益（損）		(4,496,930)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		(16,790,492)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		(41,112)
未実現評価益（損）の純変動額		(16,831,604)
運用による純資産の純増加額（減少額）		(19,097,327)
資本金の変動		
投資証券の発行		22,922,262
投資証券の解約		(18,901,622)
当期の純資産の変動額		(15,076,687)
期末純資産		90,253,036

投資有価証券明細表 (2024年12月31日現在)

(米ドル表示)

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産 比率(%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制 ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Amman Mineral Internasional PT	6,201,000	IDR	3,254,682	3.61
Astra International Tbk PT	11,813,400	IDR	3,590,259	3.98
Bank Central Asia Tbk PT	14,508,200	IDR	8,730,952	9.67
Bank Mandiri Persero Tbk PT	23,916,620	IDR	8,411,570	9.32
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	15,056,672	IDR	4,053,553	4.49
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	34,817,717	IDR	8,736,523	9.68
Barito Pacific Tbk PT	19,876,312	IDR	1,135,339	1.26
Chandra Asri Pacific Tbk PT	5,340,600	IDR	2,487,810	2.76
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	14,456,000	IDR	4,266,452	4.73
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	4,198,200	IDR	1,406,399	1.56
Dayamitra Telekomunikasi PT	33,891,042	IDR	1,355,963	1.50
GoTo Gojek Tokopedia Tbk PT	961,817,200	IDR	4,165,431	4.61
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	6,233,400	IDR	2,629,988	2.91
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	6,089,900	IDR	4,298,888	4.76
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	6,067,200	IDR	2,896,492	3.21
Indosat Tbk PT	22,554,000	IDR	3,471,102	3.85
Kalbe Farma Tbk PT	46,237,700	IDR	3,902,406	4.32
Mayora Indah Tbk PT	16,943,500	IDR	2,921,447	3.24
Merdeka Copper Gold Tbk PT	25,503,750	IDR	2,553,999	2.83
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	23,088,900	IDR	4,084,898	4.53
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	46,421,100	IDR	7,779,449	8.62
Unilever Indonesia Tbk PT	18,163,600	IDR	2,124,660	2.35
			<u>88,258,262</u>	<u>97.79</u>
株式合計			88,258,262	97.79
投資総額			88,258,262	97.79
その他資産			<u>1,994,774</u>	<u>2.21</u>
純資産			90,253,036	100.00

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	23	0.219	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.013	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.232	
期中の平均基準価額は、10,493円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
					%	%	%
国債証券	千円 739,500	千円 745,120	% 98.2	% —	% 49.0	% 15.2	% 33.9
合 計	739,500	745,120	98.2	—	49.0	15.2	33.9

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		期 末		償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	
国債証券	%	千円	千円		
第351回利付国債 (10年)	0.1	60,000	58,465		2028/6/20
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	56,972		2029/3/20
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	166,551		2030/6/20
第13回利付国債 (30年)	2.0	42,000	44,553		2033/12/20
第14回利付国債 (30年)	2.4	66,000	72,205		2034/3/20
第75回利付国債 (20年)	2.1	20,000	20,022		2025/3/20
第80回利付国債 (20年)	2.1	43,000	43,232		2025/6/20
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	55,906		2026/3/20
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	138,277		2026/9/20
第117回利付国債 (20年)	2.1	84,500	88,933		2030/3/20
合 計		739,500	745,120		

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。